

～ 日本を代表する演奏家たちが、弦楽四重奏の名作をお届けします～  
**「カルテット AT 水戸 第4回演奏会」開催のお知らせ**

平素は当館の活動にご協力賜わりまして、誠にありがとうございます。

この度、水戸芸術館では当館専属楽団「カルテット AT 水戸」による第4回演奏会を開催いたします。

本公演は今年で4回目を迎えており、メンバー同士の息がピッタリと合った極上のアンサンブルや、曲に懸ける想いを親しみやすく語るトークに、毎年好評をいただいています。

曲目は、20世紀音楽への重要な橋渡し役を果たしたドビュッシーの弦楽四重奏曲、今年没後30年を迎える武満徹による〈ア・ウェイ・ア・ローン〉、そして、ベートーヴェン中期の“傑作の森”の一角を成す〈ラズモフスキー 第3番〉です。

「皆様との『信頼感』を大切に、よりよい演奏を届けたい」「音楽を通じて一緒に旅をして、頂点に達する感覚を味わいたい」と語るカルテット AT 水戸が、ドビュッシー作品のほのめかす革新性、武満作品に渦巻く静かな浮遊感、ベートーヴェン作品からあふれる筋肉質な推進力を、今回はどのような演奏で私たちに届けてくれるのかが聴きどころです。本公演につきまして、ぜひ貴媒体にてご紹介くださいますようお願い申し上げます。

水戸芸術館・専属楽団  
カルテット AT 水戸 第4回演奏会

**2026年7月18日(土) 14:00 開演**

**【会場】水戸芸術館コンサートホールATM**

**【料金】** 全席指定／一般 4,500円  
U-25 (25歳以下) 1,500円

**【出演】** 川崎洋介 (ヴァイオリン)  
西野ゆか (ヴァイオリン)  
柳瀬省太 (ヴィオラ)  
辻本玲 (チェロ)

**【曲目】**

ドビュッシー：弦楽四重奏曲 ト短調

武満 徹：ア・ウェイ・ア・ローン

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第9番 ハ長調 作品59の3 〈ラズモフスキー 第3番〉



昨年の公演の様子

**【チケット取り扱い】**

水戸芸術館 (9:30～18:00 / 月曜休館)

好評発売中

[電話] チケット予約センター Tel.029-231-8000

[WEB] <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

[窓口] エントランスホール内チケットカウンター

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団

**【お問合せ】** 企画について：水戸芸術館音楽部門 (担当：角増) Tel.029-227-8118

ご掲載について：水戸芸術館広報係 (担当：君島) Tel.029-227-8111

E-mail. [kouhou@arttowermito.or.jp](mailto:kouhou@arttowermito.or.jp)

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>

## 出演者プロフィール



川崎洋介 / ヴァイオリン

6歳から父・川崎雅夫に手ほどきを受けヴァイオリンを始める。10歳でジュリアード音楽院予科に入学を認められ、D.ディレイ、H.カン、F.ガリミア、J.スミルノフに師事、1998年にジュリアード音楽院卒業。アラバマ州モンゴメリー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団のコンサートマスターを歴任し、水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラのメンバーとしても活躍。小澤征爾、ピンカス・ズッカーマン、ヨーヨー・マ等とも共演し、カーネギーホール、サントリーホール、ロイヤル・コンサートヘボウなど世界有数のホールに出演している。「トリオ・インク」のメンバー、アフィニス夏の音楽祭の音楽監督、ブルガリアの室内楽音楽祭「オフ・ザ・ビートウン・パス」のアーティストリック・アドヴァイザーなど室内楽での活動も目覚ましい。現在カナダのオタワ・ナショナル・アーツ・センター管弦楽団のコンサートマスター、及びNHK交響楽団のゲスト・コンサートマスターを務める。



西野ゆか / ヴァイオリン

桐朋学園大学音楽学部を経て、同大学研究科修了。大学在学中にクアルテット・エクセルシオを結成する。第2回大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門第2位、第5回パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクール（イタリア）において最高位、併せてサルバトーレ・シャリーノ特別賞など受賞。また第19回新日鐵音楽賞『フレッシュアーティスト賞』、第16回ホテルオークラ音楽賞を弦楽四重奏団として初めて受賞する。2010年10月より16年の6月までの6年間サントリーホールの『室内楽アカデミー』で、コーチング・ファカルティを勤める。2017年4月より浦安音楽ホールのレジデンシャル・アーティスト、2023年5月には秋川キララホールのアンバサダーに就任。クアルテット・エクセルシオ第1ヴァイオリン奏者。



柳瀬省太 / ヴィオラ

東京藝術大学音楽学卒業後、桐朋学園ソリスト・ディプロマコースに学ぶ。第52回ジュネーヴ国際音楽コンクールディプロマ賞。第1回淡路島しづかホールヴィオラコンクール第1位。第1回松方ホール音楽賞、大阪文化祭賞受賞。2002年、文化庁芸術家在外派遣研修生としてイタリア・パドヴァに留学。マリオ・ブルネロ主宰のオーケストラ・ダルキ・イタリアーナで活動。2004年ドイツに渡り、シュトゥットガルト州立歌劇場管弦楽団に入団。2009年帰国、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席ヴィオラ奏者を経て、2014年より読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者。サイトウ・キネン・オーケストラのメンバー。松本、宮崎、北九州など音楽祭の参加、ベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲演奏、室内楽シリーズ、ストリングクアルテットARCOのメンバーを務めるなど、室内楽奏者として活躍している。



辻本玲 / チェロ

東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。その後シベリウス・アカデミー、ベルン芸術大学に留学。第72回日本音楽コンクール第2位（「聴衆賞」受賞）。2009年ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞（日本人最高位）。2013年齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2019年CD『オブリヴィオン』をリリース（「レコード芸術」誌特選盤）。サイトウ・キネン・オーケストラ、東京・春・音楽祭に参加するほか、チェロ四重奏団「クアルテット・エクスプローチェ」など室内楽でも活動。NHK交響楽団首席チェロ奏者を務める。使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェルより1730年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを、弓は匿名のコレクターよりTourteを、特別に貸与されている。